

「ふくい de 親子暮らし留学（親子ワーケーションプログラム）」企画運営業務 公募型プロポーザル審査基準

1 基本的な考え方

- (1) 企画提案内容等の合計点が最も高い提案者を、受託候補者とする。
- (2) 受託候補者と優先的に契約交渉を行うこととし、契約協議が整わなかった場合は、次点者と契約交渉を行う。
- (3) 100 点中 60 点を最低基準点と定め、最低基準点に満たない場合は契約交渉の候補者としない。

2 審査の方法

- (1) 審査委員会は、下記の審査基準に基づき、審査・採点を行う。
- (2) 各審査委員は、プレゼンテーション毎に採点を行う。
- (3) 各提案者の合計点は、各審査委員の採点の合計を、審査委員数で除したものとする。
- (4) 同点の場合は、審査委員会の協議により、受託候補者と次点者を決定する。

3 審査基準

審査項目の配点は次のとおりとする。

区分	審査項目（評価の視点）	配点
実現性	1 類似業務の実績を鑑み、十分な業務遂行能力が認められるか。	5
	2 受注者が主体的かつ効果的に業務を遂行するために、適切な業務計画が組み立てられ、的確な人員・組織体制が整備されているか。	10
	3 経費は適切に見積もられているか。	5
企画内容	4 【「ふくい de 親子暮らし留学」の全体企画及び運営】 ・ ふくい de 親子暮らし留学の運営方法が効果的と見込まれる提案となっているか。 ・ ふくい de 親子暮らし留学参加者が、実際の生活をイメージできる効果的な内容が提案されているか。	25
	5 【「ふくい de 親子暮らし留学」参加者の募集】 ・ ふくい de 親子暮らし留学の参加者の募集にあたり、都市部の子育て家族を効果的に呼び込むとともに、参加者のニーズに合わせて受け入れすることができるか。	20
	6 【「ふくい de 親子暮らし留学」に係る関係者との調整】 ・ 就学児及び未就学児が体験入学（園）等の実施や保護者がテレワーク等を実施するにあたり、関係者との調整手段や方法が具体的に提案されているか。	20
	7 【提案の独自性】 ・ 業務目的の達成に向け、業務内容の充実や効果的な企画運営について、提案者の強みを活かした独自性のある提案となっているか。	15
計		100

＜採点基準＞

評価	優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている
配点 5	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
配点 10	10 点	8 点	6 点	4 点	2 点
配点 15	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
配点 20	20 点	16 点	12 点	8 点	4 点
配点 30	30 点	24 点	18 点	12 点	6 点